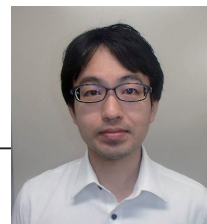


足羽川ダム工事事務所の 建設事業について



国土交通省 近畿地方整備局
足羽川ダム工事事務所 事務所長 橋爪 翔

図-1 足羽川ダム位置図

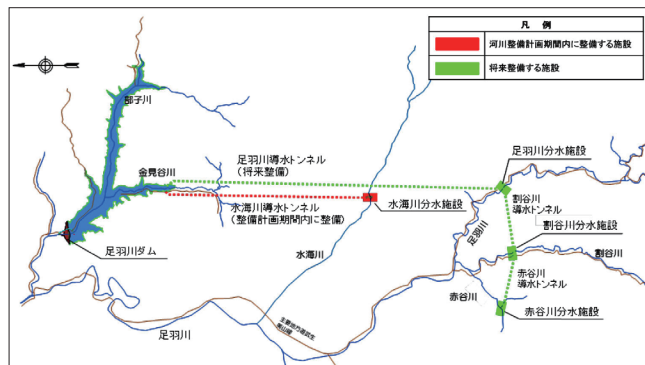
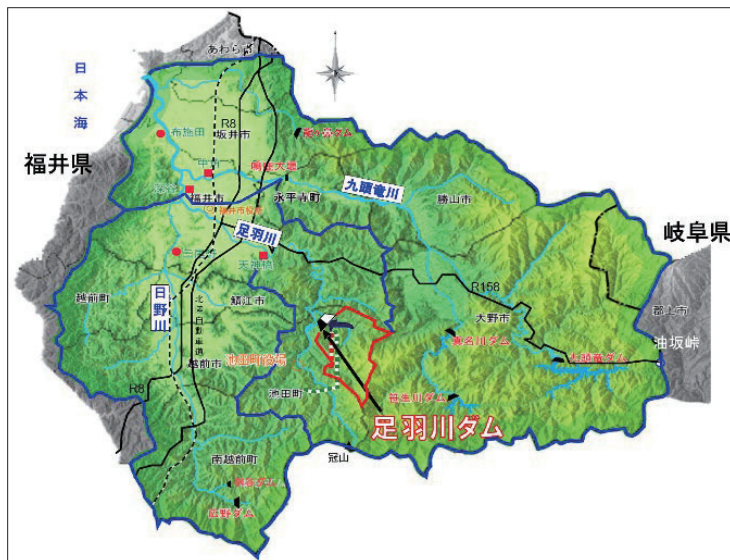


図-2 足羽川ダム計画平面図

1. はじめに

足羽川ダムは、足羽川、日野川及び九頭竜川の下流域における洪水被害軽減を目的とする、足羽川支川部子川に建設中の洪水調節専用の流水型ダムである（図-1）。

本稿では、足羽川ダム建設事業の進捗状況について報告する。

2. 足羽川ダム建設事業の概要

足羽川ダム建設事業は、河川整備計画に基づき、ダム本体と併せて、水海川流域の洪水を導水する導水トンネル及び分水施設を建設するものである。また将来整備として、足羽川、割谷川及び赤谷川の3河川からの洪水をトンネルで導水する計画となっ

ている（図-2）。

平成6年に建設事業に移行し、現在、工事が最盛期を迎えている。

3. 施設概要と工事進捗状況

3.1 ダム本体

(1) 施設概要

足羽川ダムは堤高96m、堤頂長約351mの洪水調節専用の重力式コンクリートダムである（図-3、表-1）

平常時は湛水せず、洪水時のみゲート操作により洪水を貯留する。洪水が終われば、下流に安全に流れるだけの水量を放流する（図-4）。



図-3 足羽川ダム完成イメージ

型	式	重力式コンクリートダム
堤高	96m	
堤頂長	約351m	
堤体積	約670,000m ³	
集水面積	105.2km ²	
湛水面積	0.94km ²	
総貯水容量	28,700,000m ³	
洪水調節容量	28,200,000m ³	
洪水時最高水位	EL 265.7m	

表-1 足羽川ダム諸元表



写真-1 令和6年10月時点



写真-2 トンネル約4km地点
(令和6年10月)

(2) 工事進捗状況

令和4年から開始した本体のコンクリート打設は、令和6年10月末時点で全体の約48%の打設が完了している(写真-1)。

3.2 水海川導水トンネル及び分水施設

(1) 施設概要

水海川導水トンネルは、延長約4.7km、トンネル径8.5mであり、洪水時には、最大164m³/sの洪水を足羽川ダムに導水する(図-5)。

分水施設は、堤高19.4m、堤頂長約94mの分水堰の他、2基の貯砂ダムで構成される(図-6)。

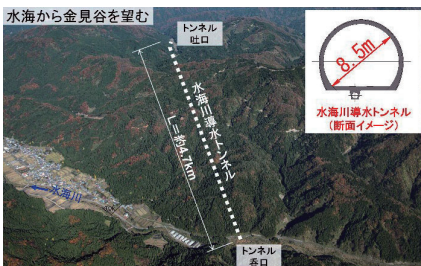


図-5 水海川導水トンネル配置図



図-6 水海川分水施設配置図

(2) 工事進捗状況

平成29年から開始した導水トンネル工事は、令和6年10月末時点で約4.2km地点まで掘削を進めている(写真-2)。

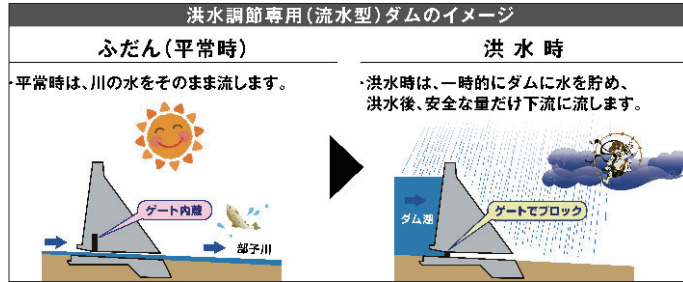


図-4 流水型ダムのイメージ

また、分水施設関連工事は、水海川の堆積土砂掘削及び、貯砂ダム(本川)の堤体打設を実施中である(写真-3)。

3.3 付替道路

(1) 施設概要

ダムの湛水により水没する道路の付け替えとして、県道松ヶ谷宝慶寺大野線は延長約6.1km、町道は下荒谷線、

広瀬千代谷線を合わせた約4.5kmを計画している(図-7)。

(2) 工事進捗状況

平成26年から開始した県道付替工事は、令和6年10月末時点で約3km、付替県道工事に次いで着手した付替町道工事は令和6年10月末時点で約1.7kmまで進捗している(写真-4)。

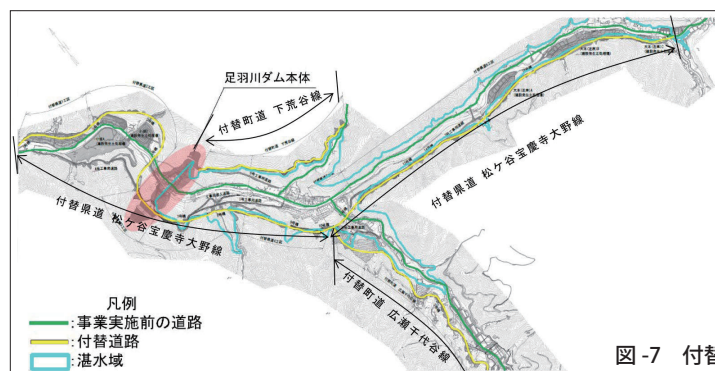


図-7 付替道路計画平面図



写真-3 分水施設施工状況
(令和6年10月)



写真-4 完成した付替県道11号橋

4. 環境保全措置

本事業は、環境影響評価書に基づき、地域の生活環境や自然環境に配慮し工事を進めている。令和4年には、クマタカ（環境省レッドリスト：絶滅危惧IB類）の産卵が確認されたため、大きな音が発生する作業を一時見合わせるなどの環境保全措置を実施した。その結果、クマタカの巣立ちを確認できた。（写真-5）

その後も複数の巣立ちを確認できている。

5. 広報の取り組み

広報の取り組みとして、建設現場の見学会を実施中で、令和6年10月末までに延べ3834名もの方に参加いただいた（写真-6）。

また、足羽川ダムに関する資料や動画、水理模型等を自由に見学でき

る「ダムギャラリーあすわ」及び4月から11月の間、終日ダムを見学できる「ダム本体建設工事展望台」を開設した（写真-7,8）。

更に今年度より、昼間の現場見学会に加え、ライトアップされた夜間工事の現場見学会「足羽川ダムナイトツアー」を開催した。多数のご応募いただき、参加者からも好評いただいた（写真-9）。

6. おわりに

令和6年7月に福井豪雨から20年の節目を迎えた。水災害の激甚化・



写真-5 巣立ち（枝移り）確認（令和4年8月）

頻発化が進む中、ダムへの期待も高まっている。1日も早い完成に向けて、職員一丸となって事業を進めていく。

また、今しか見ることのできない工事現場を積極的に情報発信し、今後も様々な広報活動や地域活性化に繋がる取り組みを行っていききたい。



写真-6 現場見学会



写真-7 ダムギャラリーあすわ



写真-8 ダム本体建設展望台



写真-9 足羽川ダムナイトツアー